

子育て健やか教室

獨協医大病院小児科医カルテ

⑪



加納優治助教

腎臓の病気の症状の一つにたんばくの多い尿が出る。「たんばく尿」があります。たんばくは健康なうばくと尿には混じりません。

お子さんのたんばく尿で思い浮かべる一番身近なものといえば、「3歳検尿」や「園検尿」、「学校検尿」だと思います。栃木県での子どもたちの学校検尿におけるたんばく尿陽性率は約1%であり、決して少なくはありません。

むくみ

たんばく尿のみの場合に本当の腎疾患が見つかるケースは10%にも満たず、ほとんどの場合は「濃縮尿」や「体位性たんばく尿」、「運動性たんばく尿」、「運動性たんばく尿」などで病気ではありません。

たんばく尿を正確に評価するには採尿方法が非常に重要になります。検査の前日は必ず寝る前にトイレに行き、日中にごきた尿を空にしてから寝るよう(こ)しましょう。採尿当日は、早朝第一尿の中間尿を採取しましょう。

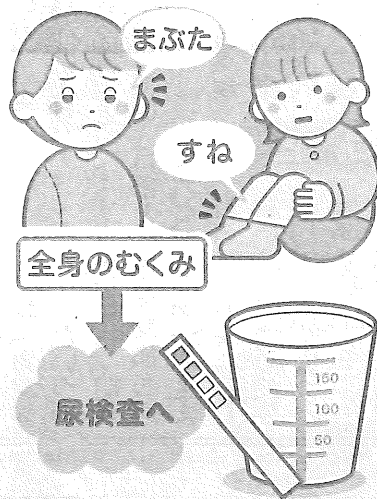


イラスト / 手塚智海 SHIMOTSUKE GRAPHICS

正しい採尿方法でもたんばく尿が続く場合は、慢性腎炎などが考えられるので、背中から腎臓に針を刺して、腎組織を直接評価する腎生検が必要になります。日本では学校検尿で早期に慢性腎炎

を発見し、治療を開始するので、慢性腎炎による透析導入はかなり少なくなっています。続いて、尿に大量のたんばくが出て、血液中のたんばく(アルブミン)などが減少し、全身がむくむ「ネフローゼ症候群」についてお話しします。最初は子どものまぶたのむくみで気付かれることが多いですが、眼科などで

気になったら尿検査を

ネフローゼ症候群は尿検査さえすれば、比較的すぐに診断できます。診断が遅れると腎障害や感染症、血栓症などの合併症を来す可能性が高まります。

むくみが気になるお子さんは、かかりつけ医でまず尿検査をしてもう一度にしましょう。ネフローゼ症候群も最近ではさまざまな治療方法があり、しっかりと管理していれば、通常のお子さんと同じ生活が送れることがほとんどです。
(獨協医大病院小児科助教・加納優治)

(第3土曜日掲載)